

ふるさとの木

ミズナラ (美宇)



場所：新冠町字美宇（清流橋地先）
樹木の太さ：約 60 cm

木の特徴

カシワとともに、ドングリ（堅果）の木としても知られるブナ科の落葉高木です。樹高は20～25m、胸高80cmにもなります。樹皮は黒褐色で、深い不規則な裂け目があります。倒卵形で先はとがり、縁は鋭い鋸歯があります。

この木は堅いのが特徴で、多量の水分が含まれることから、この名がつけられました。また、国内各地に分布し、家具、建築材など用途も広く、新冠も昔から牧柵や木炭、薪炭材として活用されてきました。今日では、シイタケのホダ木として、多くの人達に親しまれ活用されています。

《文～大下謙二さん》

この木と歴史のかかわり

美宇地区は、大昔から人々が住んできたとされています。その証拠に比宇川付近より遺跡が確認されており、土器や石器またはアイヌの人達が使用したとされる金属製品が出土しています。美宇のアイヌ集落については、幕末の探検家松浦武四郎の書物にも記録が残されています。

明治時代以降は、御料牧場の放牧地の一部でしたが、熊の出没が多く、放牧場の被害があるため、開墾のために明治後期に開拓の鍬が初めて下ろされました。

この木は、美宇に昔から生きている大木で、幾多の自然災害を乗り越えて現在に至っています。特に平成15年の台風10号による美宇地区の被害は甚大で記憶に新しいところですが、この木はその時も無事であったといえます。この地の守り神のような木なのではないでしょうか。まわりにひまわりがたくさんあり、花が咲く頃きれいな彩を添えています。

《文～新川剛生学芸員》

小竹町長の動静 & まちのできごと 2月 ●は町長出席

●5日、日高町村会定期総会、日高管内地方税滞納整理機構定例議会、北海道日高地方振興協議会総会（浦河町）、新冠町少年国内研修交流事業報告会●9日、新冠町和牛生産改良組合通常総会、豊かな新冠町を造る計画委員会、まちづくり研修会●10日、第1回臨時議会、新冠町稲作振興会通常総会●12日、岩清水地区資源調査事業報告会●13日、新冠町軽種馬生産振興会通常総

会、平成20年重賞レース優勝祝賀会○13日、例月出納検査●15日、日高中部消防組合新冠消防団現地教育訓練●16日、庁内会議、地域公共交通活性化協議会、新冠町農業振興対策推進協議会●17日、新冠町酪農振興会通常総会●20日、新冠町青少年問題協議会●22日、自衛隊入隊予定者壮行激励会●26日、新冠町国民健康保険運営協議会●27日、日高中部森林組合通常総会

人の うごき (平成21年2月末現在)

人口 5,892人 (前月比 - 16人)
男 2,869人 (前月比 - 2人)
女 3,023人 (前月比 - 14人)
世帯 2,587世帯 (前月比 ± 0世帯)
外国人登録者 28人

